

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	桐生正幸	所属	東洋大学
研究会等名称	デジタル技術と心理学によるコンバージングテクノロジー研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数</p> <p>①集会 会員 5 名 (うち認定心理士 1 名) 非会員 164 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>②定期動画配信 (計 3 回) 会員 2 名 (うち認定心理士 1 名) 非会員 70 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>① 集会 (2023/10/7(土)実施) 実施タイトル: 第一回研究大会 実施内容: 企業や大学、自治体などで取り組みをされている 4 名の講演者をお招きし講演実施 成果: 研究会メンバだけでなく、産官学様々な立場から計 169 名が参加する大規模な研究大会を開催。多様な立場の講演者から、デジタル技術と心理学の関わり、現場での活用について例を挙げながらご紹介いただき、研究分野の活性化に繋がる集会となった。大会後アンケートの NPS 推奨度スコアは +19.2 であり、研究会の目的やコンバージングテクノロジーの社会実装例に多くの共感を得られたことを確認した。この研究大会をきっかけに、コンバージングテクノロジー研究に関わりたいという多くの人材からご連絡いただくことができ、研究加速に繋げることができている。 (参考: https://convergingtech.wixsite.com/home/2023107)</p> <p>② 定期動画配信 (計 3 回、2023/12~2024/3 実施) 実施タイトル: 講演動画配信 (3 本) 実施内容: 大学や企業で研究に取り組む 3 名の方をお招きし講演動画配信 成果: デジタル技術と心理学に関する研究や社会実装を行っている方を講演者として 3 名お招きし、それぞれ 20 分~50 分程度の講演動画を作成。 ①の集会参加者を中心に講演動画の配信を行い、継続的な研究分野への接点創出に成功。来年度以降の仲間づくりに繋げることができた。3 本の動画について延べ 72 名 (3 月 21 日時点) の方に講演を見ていただくことができた。</p> <p>【将来計画】 2024 年度は 2023 年度活動を更にブラッシュアップしながら活動を継続し、研究分野の認知拡大と研究加速を目指す。</p>		

(様式5)

2024年3月21日

日本心理学会研究会 2023 年度会計報告書

研究会名称 デジタル技術と心理学によるコンバージングテクノロジー研究会

研究会番号 23017

助成金額 ¥40,000

年月日	項目	金額
2023年10月20日	講演会講師謝礼金(1名)	¥35,916
2024年3月21日	返金(日本心理学会)	¥4,084

支出合計 ¥40,000